



奥物部ふれあいプラザで
自慢の歌声を披露

4月12日、奥物部ふれあいプラザで『第19回チャリティー歌謡ショー』（大栃カラオケ愛好会主催）が開催され、約600人の観客が集まりました。

歌謡ショーの第1部では、愛好会のメンバー8人が日頃の練習で鍛えた自慢の歌声を披露。第2部では、プロの演歌歌手（冠二郎さん、重留辺さん）によるステージがあり、楽しいトークとプロの歌声に観客は大いに盛り上がりました。

また、歌謡ショーの収益から物部地域の社会福祉に役立ててもらおうと、香美市社会福祉協議会物部支所へ20万円、高齢者生活福祉センター『こづみ』へ42型地デジ対応薄型テレビ、マッサージチェアがそれぞれ寄贈されました。

青空に飛んでいった紙風船



盛大に行われたもちまき



式典終了後、セレネ前広場では、もちまきが行われ、たくさんの人で賑わいました。

式典の最後には、関係者が公園内に植栽しているヒオウギの種を付けた紙風船を130個飛ばし、開園を祝いました。福留功男さんは、「予想の何倍も素敵な公園となった。あと5年もしたら花木が育ちもつとよくなるので楽しみです」と喜ばれていました。

香北の自然公園オープン！



記念碑の除幕

式典では、福留さんに感謝状が贈呈され、その後テープカットと、福留さんのキャラクターが入った記念碑を除幕しました。式典中は、香北中学校吹奏楽部の演奏が披露され、式典に花を添えました。

この公園は健康センター『セレネ』の南に位置し、およそ3ヘクタールの敷地に、約70種類1万4千本の花木を植栽しており、四季折々の花が楽しめます。公園整備は、香北町出身の福留功男さんの寄付金で行われ、花木の種類選定は、同町出身の元牧野植物園長の山脇哲臣さんが行いました。公園名は福留さんの希望で、大宮小学校児童に募り、6年の佐々木元土君の案を採用しました。また、香北中学校2年の大西星花さんの字を題字にした記念碑を建てたことから、二人に記念品が贈られました。

『香北の自然公園』が完成し、4月11日に開園式が行われ、地元関係者や小学生など110人が参加しました。

三谷地区集会所が完成



4月19日、香北町谷相の旧谷相小学校跡へ、三谷地区集会所が完成し、竣工行事が行われました。

同集会所は、廃校となった小学校に代わる地域活動の拠点施設として市が整備したものです。今後は、三谷地区の住民で組織された『三谷地区集会所運営委員会』が管理運営を行います。

当日は、多くの地域住民や関係者らが参加して、神事・式典の後、もちまきも行われ、集会所の完成を祝いました。

地域住民からは「立派な集会所ができて良かった」と喜びの声が聞かれました。



繁藤小中学校鮎放流

4月28日、嶺北漁業協同組合が穴内川上流へ鮎の稚魚約3,000匹を放流し、この放流に繁藤小中学校の児童生徒全員が参加しました。鮎の放流のほか水質検査を行い児童生徒は、この川がきれいであり、鮎の生息に適していることを確認しました。

消防団春季演習



土佐山田給食センター

物部

ドラム缶を的に

消火技術の向上、団員の交流を目的に消防団の春季演習が行われました。

4月5日、土佐山田消防団（団員・消防署員あわせて約130人が参加）が学校給食センターでの火災を想定した訓練を、12日には物部消防団（団員・消防署員あわせて約60人が参加）が大栃公園でホースの延長要領やポンプ運用などを競い合う訓練を実施しました。団員らは、消防署員の指導を受けながら、実践で生かすことができるように熱心に取り組んでいました。